

防災だより NO.1

～ 阪神・淡路大震災 ～



編集 安倍・山崎

発行 11月6日

僕たち防災委員は、夏休み中に生徒会役員と一緒に合計15名で兵庫県にある北淡震災記念公園と人と防災未来センターを見学してきました。1995年1月17日に起きた阪神淡路大震災を知ることで、近い将来起こると予想されている南海トラフ巨大地震対策に活かせる防災学習をしてきました。



[北淡震災記念公園 断層保存ゾーン]

阪神淡路大震災は、淡路島北部や明石海峡を震源としたM7.3の強い揺れを記録し、死傷者50,000人弱、被害総額10兆円の大地震となりました。僕たちが見学した記念館は、この地震で発生した断層のズレを140m保管してある全国でも数少ない貴重な施設です。他にも、震災体験館や当時の被害を再現しているメモリアルハウスなどがあります。左の写真は、実際の地震でずれた断層で、上下に53cm、横方向に120cm動いていることを示しています。

右の写真は、公園内にあるメモリアルハウスの近くにある120cmずれた断層です。メモリアルハウスは、断層の隣に位置しながらほとんど壊れていなかったことから『地震に強い家』として保存されています。この写真以外にも家の塀、また当時の台所が再現されています。大きな被害を出した大震災の中でも断層の隣でありながら倒壊することのなかったこの家から、今も昔も耐震工事がいかに大切なものかがわかりました。しっかり備えることができれば被害も最小限に抑えることが可能です。



[北淡震災記念公園 メモリアルハウス]



[人と防災未来センター]

2日目に行った人と防災未来センターは、阪神淡路大震災を学ぶだけではなく当時の様子を体験し、語り部さんやビデオにより当時の経験や教訓を次世代に語り継ぎ、勉強することが出来ます。語り部さんは、僕たちに震災当時『若者の力に救われた』とおっしゃっており震災が起こったとき、私たちが率先してボランティアをするなど、若者が力を発揮する必要があると再確認することが出来ました。